

「北方領土教材」指導案（高等学校・地理）

埼玉県北方領土教育者会議

学年、教科	高等学校全学年、地理歴史科
学習指導要領の内容	(2) エ
科目・単元	地理B・「民族と国家」
利用のタイミング	授業の導入、または授業のまとめ
利用する教材	北方領土検定：自然編 北方領土ワークシート②③④ 教科書：地理B 副教材：地図帳、各種資料集等 北方領土問題対策協会「歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島」 国土地理院地形図
利用のねらい	①教材の部分使用（10～20分程度）により、興味関心を引く「授業の導入」や分かりやすい学習事項の整理として「授業のまとめ」にする。 ②国家の主権が及ぶ領域（領土・領海・領空）や排他的経済水域等について学び、北方領土にも日本国の主権が及ぶことの理解を深める。 ③北方領土は「日本固有の領土」であることを正しく認識する。
学習活動の流れ	（1）授業導入として利用する場合 ①資料を読みながら、「検定」自然編の問1～10と「ワークシート②③④」を20分間で解答させる。 ②模範解答をプロジェクター等で投影し、生徒は隣の生徒とペアになり、答え合わせを行う。 （2）授業のまとめとして利用する場合 ①ペアになり、資料を見ずに10分間で解答させる。 ②模範解答をプロジェクター等で投影し、資料を配り教員が若干の説明を行う。
指導上の留意点	①国家の三要素である「主権・領域・国民」について、理解を深めさせる。 ②領土問題は、日本と近隣国だけの問題ではなく、世界的にも様々な領土問題があることを理解させる。 ③北方四島に関する写真や映像教材を視聴させ、視覚的に理解させることが大切である。 ④北方領土に興味関心をもたせるように留意する。（例、最新の新聞記事を紹介したり、島に学校があるかなど発問したりする。）

令和3年3月